

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	カルバペネム系抗菌薬使用患者に対する早期モニタリングが抗菌薬使用適正化に与える影響の検討
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2021年4月以降、当院入院中にカルバペネム系抗菌薬が開始となった患者さん
③ 概要	近年、抗菌薬の不適切な使用を背景とした薬剤耐性菌の増加が世界的に問題となっています。薬剤耐性菌とはある特定の抗菌薬に耐性をもった細菌であり、薬剤耐性菌の増加は抗菌薬の治療効果を減弱させ、感染症による死亡率の増加に寄与すると考えられています。特に、抗菌薬の中でも最も広域な抗菌スペクトラムを有する（広範囲の細菌に効果を示す）カルバペネム系抗菌薬を適正に使用することによって、薬剤耐性菌の発生抑制や感染症治療の成績向上が期待されます。今回、カルバペネム系抗菌薬使用患者さんの治療のモニタリング（カルバペネム系抗菌薬の処方把握し、必要に応じて適正使用に関する提案をする）を強化する取組みが、抗菌薬適正使用化に与える影響を調査する目的で本研究を行います。
④ 申請番号	2023-0029
⑤ 研究の目的・意義	本研究ではカルバペネム系抗菌薬の使用を開始した患者さんに対してモニタリングを早期に実施することによるカルバペネム系抗菌薬の使用適正化に与える影響を調査することを目的とします。この研究によって医療現場における広域抗菌薬の適正使用の推進に貢献することが期待されます。
⑥ 研究期間	倫理委員会承認日から2024年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテ内の病歴、使用抗菌薬とその使用期間、血液検査結果を利用します。個人を特定できる情報の取り扱いには十分注意し、特定の個人が識別出来ない情報として使用します。研究の成果は学会や学術雑誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できる情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴、使用抗菌薬とその使用期間、血液検査結果
⑨利用する者の範囲	新潟大学医歯学総合病院 薬剤部
試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学医歯学総合病院 薬剤部 薬剤師 鈴木直人
お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学医歯学総合病院 薬剤部

	<p>氏名：袖山健吾</p>
--	----------------

Tel：025-227-2784

E-mail：kengosode.hu6@nuh.niigata-u.ac.jp